

環境問題は、今や私たちの生活と切っても切り離せないものになっています。ゴミ(廃棄物)問題、地球温暖化問題、大気汚染問題や自然破壊問題など実にさまざままで広範囲にわたります。

経済の発展とともにたくさんの資源とエネルギーを使い、たくさん消費して、たくさんゴミを出してきました。しかし、資源には限りがあります。自然を壊し続けてきたツケはやがて私たち人間にやってきます。美しい自然と住みよい本宮市を、次の世代に引き継ぐため、私たちが身近な生活の中でできることから始めましょう。一人ひとりの小さな努力が大きな成果となるはずですよ。

### 私たちができること

#### ゴミの減量化

私たちが生活するうえで排出されるゴミの処分には、多くのエネルギーを消費し、処分の量が多ければ多いほど、環境への負荷も多くなり、処理費用も多くなります。分別を徹底する、ゴミとなるものを家庭にできるだけ持ち込まない、リサイクルできるものは再利用するなど、ゴミを減らすには何をすべきかをみんなで考えましょう。

#### 地球温暖化の防止

電気をつくるにはとてもたくさん

のエネルギーが必要で、地球温暖化の一番の原因でもあると言われていきます。必要なとき以外はスイッチを切りましょう。

また、電源を入れていなくても、コンセントがささったままだと少しずつ電力が使われています。テレビの主電源を切ったり、使っていない電気製品はコンセントからぬくなどしましょう。

#### 大気汚染の防止

空気を汚さないためにできることは、なんですか？

大気汚染の主な原因は、石油や石炭などを燃やすことにあるため、なるべくこれらを使わないようにすることが大事です。近い距離の移動はなるべく自動車を使わないようにする。家でも、冷暖房を使いすぎないように気をつけましょう。

#### 自然破壊の防止

自然環境の破壊は世界中で急速に進んでいます。

木は紙の原料です。なるべくリサイクル用紙を選んだり、使った紙はできるだけリサイクルにまわしましょう。また、生活排水や工場排水、産業廃棄物、農業や化学肥料の不適切な使用などによって、河川や地下水などの貴重な水源が汚染され、農業用水や生活用水などに影響が出てきます。「水を汚さない」、「水を節約する」ことが重要です。

## うつくしい自然環境を次代へ



## さあ、あなたもエコアクション！

### 知っていますか？ 3R

#### ゴミ減量の基本3R(スリーアール) Reduce(リデュース)

物を大切に使い、ゴミを減らす

- ・ 必要ない物は買わない、もらわない
- ・ 買い物にはマイバッグを持参する

#### Reuse(リユース)

使える物は、繰り返し使う

- ・ 詰め替え用の製品を選ぶ
- ・ いらなくなった物を譲り合う

#### Recycle(リサイクル)

ゴミを資源として再利用する

- ・ ゴミを正しく分別する
- ・ ゴミを再生して作られた製品品を利用する

### 本宮市の水環境保全への取り組み

市内には阿武隈川をはじめ、大小多くの河川があります。これまで、生活排水対策や河川の水質を改善するため、公共下水道の計画的整備、農業集落排水施設の整備、合併処理浄化槽の普及など、地域ごとに適した整備を進めてきました。

市では、市内の6河川について毎年、水質調査を行っています。現在、環境基準を上回る結果は出ていないものの、今後も水質の保全には、注視していく必要があります。

また、市の上水道は、河川と地下水からの取水によりまかなわれています。いずれも自然からの恵みですが、安全で安定的な水を確保していくためにも、水源などが汚染されない取り組みをしていく必要があります。

## 皆さんへのお願い

### ゴミの分別徹底を

プラスチック製容器包装用の指定袋(透明)の中にカミソリやひげそりが入っていることがあります。

再生利用の際の仕分け作業で大変危険ですので、カミソリやひげそりは破砕するゴミの指定袋(ピンク)に入れてください。



### 水路へのゴミ捨てはやめて

最近、水路へのゴミ投棄が多くなっています。水路を管理している組合の方たちが清掃作業を行っていますが、水路へのゴミ捨てがなくなることが現状です。

水路は農業用水や降雨時に雨水を流すための重要な役割を果たしています。水路にゴミを流すことで、景観を損なうだけでなく、水質や土質に重大な影響を与えます。また、大雨時には水の流れの阻害要因となります。

水路へのポイ捨てや不法投棄はやめましょう。

## 市内の企業でも太陽光エネルギーの導入が始まっています

2012年6月に経済産業省が「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を発表したことで、電力会社各社は「太陽光、風力、地熱、水力、バイオマス」の5種類の再生可能エネルギーによる電力を、全量買い取ることが義務付けられた背景もあり、自家発電用はもちろん売買取得として、メガソーラーの普及は広がりつつあります。

市内の企業でも、太陽光発電施設を設置し、環境面に配慮した事業を行っている事業所があります。

太陽光発電システムが生み出すのは、二酸化炭素を排出しないクリーンエネルギーです。二酸化炭素削減などのメリットがあります。



▲市内企業の太陽光発電所



▲一般住宅の太陽光発電の導入も進んでいます

